

とくしゅうえん通信

平成28年7月号

祝 5年目に入りました祭



平成24年6月1日に開苑した静岡徳洲苑は、早いもので5年目に突入いたしました。5年目を迎えた平成28年6月1日、みなさまへの感謝の気持ちを込めまして、お祭りを開催いたしました。お祭りは岡村施設長のあいさつから始まり、ご利用者さまと職員一同で乾杯！屋外では、おでんのおかわ様ご提供の静岡おでんや、当苑厨房提供のやきそば、フランクフルトの出店が並び、ご利用者様同士談笑しながら美味しそうに召し上がっていらっしゃる姿が見られました。また、2F3Fのフロアでは、バルーンアートに挑戦。自身で作成したバルーンを大事そうに持ちながら、屋外へ食事を取りに来られるご利用者さまもいらっしゃいました。皆さまに喜んでいただいたお祭りとなりました。これからも静岡徳洲苑をどうぞよろしくお願いいたします。



岡村施設長よりご挨拶



酷使した体をどうぞゆっくり休めてください。国はもっと80歳代を中心とした皆さまを手厚く援助すべきだと考えます。リハビリを楽しくみ栄養をつけて少しでも楽になり、自宅に戻れるよう希望します。

静岡徳洲苑施設長
岡村 桂介

静岡徳洲苑はおかげさまで、6月1日をもって創立4周年を迎えることが出来ました。たまたま私も去年6月1日からこちらに勤務したので、満二年目に入りました。

皆さまの年齢は80歳代を中心とした70～90代の方々です。特に昭和5年～15年生まれの人たちは、筆舌に尽くせぬくらい大変な時代に生を受けました。生まれた時はすでに満州事変、支那事変の頃で、日本は戦争の真最中、食物も衣類もままならず、教育もおろそかにされ、戦後の少国民として国策に協力し、恐ろしい空襲にも遭遇したでしょう。少年たちは軍事訓練を、少女たちは工場に農場にと駆り立てられました。

昭和20年8月の敗戦後に生まれた人たちもみじめでした。空襲の恐れからは逃れました。ヤミ市にすがるみじめな生活から日本人のまじめさとかしこさで見事に戦後を復興して吉界第二の経済大国になりました。その立役者が今現在入所している皆さま方なのです。体の発育時に十分な栄養もとれず、みじめな衣類と住居で働きずめでしたが、そのおかげで今の立派な日本があるのです。

通所リハビリ通信



梅雨の6月、雨のジトジトした日が続く中、皆さま元気に通所リハビリに通ってきてくださっています。ちぎり絵の作品作りも、順調に作業が進み、完成に近づいています。その他にも、タオルを使った体操や、カラオケ、習字など様々な活動を楽しんでいます。特に習字は本格的で、先生のご指導のもと、筆の持ち方などに注意しながら真剣に取り組んでいます。

6月の誕生日会では、チョコレートフォンデュに挑戦しました。湯銭で溶かしたチョコレートにバナナやカスターなどをつけて食べると、ほっぺたが落ちそうなくらい美味しく、みなさまとても喜んでいらっしゃいました。

G3バンドコンサート



おでんややきそばでお腹がいっぱいになったお祭りの日の午後、G3バンドの皆さまによるコンサートが開かれました。皆様が青春時代に聞いていた曲の数々を口ずさんだり、手拍子をしたりととても楽しんでいました。

介護老人保健施設 静岡徳洲苑
〒421-1221 静岡市葵区牧ヶ谷 811-15
TEL: 054-277-3300
FAX: 054-277-3305